



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address:〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan  
Mail : uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp  
URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)



## 主　題

国際協会会長 ケンワン・オン(シンガポール)  
“Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」  
アジア太平洋地域会長 田上 正(熊本むさしクラブ)  
“Act now with faith and love” 「信念と愛を持って行動しよう！」  
西日本区理事 中井真一(奈良クラブ)  
“Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world !” 「世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう！」  
六甲部部長 柳 敏晴 (神戸西クラブ)  
「温故知新 Visiting Old, Learning Now！」  
芦屋クラブ会長 田辺征一  
「クラブを愛し楽しみ仕えあう」  
(Love, work for and enjoy the Club, together )

## 今月の聖句

主なる神は人を連れてきて、エデンの園に住まわせ、人がそこを耕し、守るようにされた。主なる神は人に命じて言われた。「園の全ての木から取って食べなさい。ただし、善惡の知識の木からは、決して食べてはならない。食べれば必ず死んでしまう。

創世記 2 章 15 節～17 節

## 12月クリスマス祝会

とき: 2025年 12月 23日(火) 18:00～21:00

ところ: ホテル竹園芦屋3F

総合司会: 柏原佳子ワイス・福原吉孝ワイス

《 詳しくはクリスマス祝会プログラム参照ください 》

◇開会挨拶・点鐘	田辺征一会長
ワイスソング	一同
◇礼拝の部	司会:島田 恒ワイス
祈祷・奨励	権 甲植ワイス
◇祝宴の部	
ゲスト・ビジター紹介	柏原佳子ワイス
祝辞	
会食	
エンタテイメント	片岡さわ子 & The Big Buzz
チャリティーオークション	
エンタテイメント	片岡さわ子 & The Big Buzz
YMCAへの献金贈呈	
◇フィナーレ	
きよしこの夜	一同輪になって
閉会点鐘	田辺征一会長

会　長	田辺征一
直前会長	柏原佳子
副会長	福原吉孝
書　記	柏原佳子
会　計	桑野友子
監　事	上野恭男
担当主事	井島裕介
六甲部地域奉仕・環境事業主査 福原吉孝	

12

Dec.,2025  
341号

## 「ウエルビーイングの実践」

会長 田辺征一



私は、この度、久方ぶりに YMCA インターナショナル・チャリティランに参加しました。これは、「日本中の障がいのある子供たちが YMCA のキャンプに参加できるように！」との願いから 29 年前に始められたもので、「共に生きる」、「心のふれあい」、「ボランティアの心」を目指しています。今年は快晴のもと幼児から大人まで 500 人以上が集まり交流を楽しみました。ワイスの皆様も各クラブから 30 名ほどが協力してお店を出しました。

競技には 1/10 マラソン、1.2km ウォーキング、1/100 マラソンがあり、私は初めてウォーキングに参加しました。途中、ワイスの方とお話ししながらの楽しい 20 分間でした。競技参加者の多くの方々が仮装に意匠を凝らしておられ、全身恐竜のぬいぐるみを着た方、大きなお寿司を頭にかぶせた方々、宝塚クラブワイスの皆様は童話に出てくる動物の絵を頭にかぶせての参加。皆さん和気あいあいと楽しそう！

今回、“YMCA vision 2030” の一つであるコミュニティウエルビーニングの実践例を見た気がしました。1/10 マラソンでは健脚の持ち主がタイムを争い 42.195km 走行時のタイム換算表まで用意されていましたし、1/100 マラソンでは幼児が家族と一緒にゴールのテープを切るさまが三者三様で、ほほえましい情景がいっぱい。YMCA チャリティランは心身ともにリフレッシュし、“サー、明日からもガンバロー！”と英気を養ってくれることを今年は特に強く実感しました。

## 11月例会集計

第 1 例会出席 メンバー	14 名	例会出席率 出席者	14名	BF切手 累計 gm
メネット	1 名	マイアップ	名	
コメント		合計	名	
ビジター	3 名	在籍者	17 名	
ゲスト	2 名	(内広義会員 1 名)		
合計	20 名	出席率	%	
				ニコニコ
				22,500 円
				累計 64,310 円

## 11月第1例会報告

日時：2025年11月19日(水)17:00～19:00

場所：ホテル竹園芦屋

司会：山口光一ワイス (敬称略)

参加者：田辺征一會長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子・  
権甲植・島田 恒・堤 清・中島かおり・瀬瀬眞知子・  
坂東幸子・福原吉孝・船橋知子・山口光一(各ワイズ)、  
島田保子メネット&井島裕介担当主事

ビジター：浅野純一・小野勲・山本常雄(西宮クラブ)

ゲスト：福本美枝子・加納真理子(島田ワイズ友人)

11月で肌寒さが増してくる中、私にとっては久しぶりに、大好きなみなさんと会える第一例会。家に帰ってきたような安心感で、幸せに満たされる。

例会での司会は初めてのことでしたが、塾講師や教会での司会経験が多いこともあり、お褒めいただきて大変光栄でした。島田ワイズがお呼びくださったゲストの方もいたことで、華がさらに増す例会でしたし、テーブルでは万博の話で盛り上がったことも大変印象的でした。

今回のお話は天皇や王様について。私自身は世界史を学んでいたこともあります。懐かしいなどと思う部分と新たに知る部分があって、そのハイブリッドさから大変興味深く聞かせていただきました。欧米では戦いから王座の取り合いになったことが多いのに対し、日本では代々天皇がそのまま血筋で受け継がれていく。



愛子さまが初の女性天皇になるのか、はたまた冗談のようにお話されていた小室家から天皇が出るのか、あまり自分には関係のないことと思いながらも、そう遠くないうちに起こるであろうことに、今日お話があったことで考えを深めることができました。クリスマスに向けてのアピールもありました。オークションではいつもお得すぎるモノばかりで、芦屋はそれだけで参加する価値があります！私自身は堤さんの幸運のパールを買わせていただき、それをプロポーズの時に渡して再婚することができ、この日みなさんにお伝えして祝福していただくことができました。ワイズには不思議な魅力があり、この働きはどう形が変わっていくかは分かりませんが、受け継がれていく必要があります。2025年も終わろうとしていますが、みなさんでまた反省をして2026年に向けて、活気あるワイズにしていきましょう！

山口光一

浅野純一さま

昨日は、興味深い歴史をお話しいただきありがとうございました。質疑応答は、必ずどなたかの手が挙がるのですが、時間が無くて残念でした。又、昨日は特に料理がひどくて申し訳なく私たちも驚いています。ホテルでの夜の会食となると双方に考えねばならない物価高騰の諸事情もあるかと思いますが、あれは…ひどすぎましたね。

クリスマス例会は懲りずにぜひご参加くださいませ。

ともかくもお礼とお詫びです。

書記 柏原佳子

## イギリス王室の庭 ハイグローブ

11月の第1例会のゲストスピーチは、「イギリス王室と日本の皇室」について西宮クラブ浅野純一ワイスのお話でした。毎回、ゲストスピーチは、多方面にわたり、興味深いものです。スピーチを聞きながら、かつて旅行したイギリス旅行、コツツウオールズの旅を思い出しました。その旅行で訪れた、現イギリス国王チャールズ3世の庭、ハイグローブガーデンに思いをはせっていました。

ロンドンから、2時間、コツツウオールズ丘陵の街 Tetbury の近郊にある、ハイグローブガーデンは無農薬で自然保護にこだわったガーデンで有名です。王室の庭のイメージではなく、自然に溶け込んだ、親しみやすい庭でした。

この地方特産のはちみつ色の石で作られた、美しい村は、世界中の、ガーデン愛好家の大人気の村です。

古いものを、大切にするイギリス人のアンティーク家具の店、おしゃれなパブなど、歩いているだけで楽しくいやされる村でした。国王チャールズ3世は、もちろん、時々キャサリン妃が子供たちと訪れるとの事、イギリス王室の、オープンな一面を感じました。

浅野ワイズのスピーチはイギリス王室の変遷、歴史など、非常に研究されていて、興味深いものでした。

特に、ウッカと、トマトジュースを使った、カクテル「ブラッドメアリー」の由来は、16世紀の、イングランド女王メアリー1世の異名「血まみれのメアリー」に由来しているとの事など、なるほどと思う、カクテルです。

限られた時間では、なかなか話しきれないイギリス王室の歴史、又機会があれば、お聞かせください。

瀬瀬 真知子



## 六甲部部会

第24回六甲部部会が11月15日にHクラウンパレス神戸で行われ、西日本区各地から121名が集い、芦屋クラブからは7名が参加しました。部会に先立ちEMCシンポジウムがありEMC事業主任の久保田雅彦ワイズ(京都グローバル)から「メンバー増強には『クラブの魅力』と『メンバー満足度』を高めることがカギ！」であることが力説されました。引き続き六甲部各クラブのEMC活動報告があり、桑野友子ワイズは「皆で活動を支えあうことで楽しさを共有できることがEMCにつながる」ことを力説された。



六甲部書記の岡山泰典ワイズの司会で式典はスタート。7クラブ会長がクラブのバナーをもって登壇する恒例のバナーセレモニーに引き続き柳敏晴部長

の開会点鐘後、ワイズソングを一同声高らかに齊唱。開会祈祷、来賓(神戸YMCA総主事および西日本区理事)のあいさつの後、柳部長の挨拶がありその中で西日本区が仏教

王国ラオスに新たに YMCA ホテル学校設立にこぎつけることができた喜びをあらわされた。

式典での講演は「いつまでも健やかに自分らしく過ごす～チエアクササイズでフレイル予防～」と題し竹尾好恵さん（NPO 法人「1 億人元気運動協会」会長）による実演講習で高齢化の進むワイスたちにとってまさに時にかなった内容でした。いつまでも健やかに自分らしく過ごすためにも日頃から実践し



ておかなければならることの大切さを参加者全員が学んだのではないでしょうか。竹尾さんをクラブの例会にお呼びし再度このエクササイズをクラブの皆様と多くの方にも紹介したいと思いました。

5 時間余りの長い時間を感じさせない充実した会で、右肩上がりのメンバー増強もあり得ると思わしめる良い部会でした。ホテルの食事・ワインもおいしく満足のうちに会場を後にしました。部会を企画された柳部長はじめスタッフの皆様に感謝です。

田辺征一



魚と肉のフルコースはどれも丁寧に仕上げられており、心もお腹も満たされすごく贅沢な時間を過ごせました。そして、チエアクササイズは簡単で、気



軽に身体を動かせて良かったです。座っているだけじゃない！椅子のポテンシャルに驚きました。

船橋知子

## 白洲次郎トークセッション

白洲次郎没後40年特別企画トークセッションは、三田市の総合文化センター「郷の音ホール」で 11 月 1 日に開催されました。次郎の長女牧山桂子さんと夫君の牧山圭男さんに作家の北氏が質疑応答する2時間ほどのイベントで、柏原佳子ワイスに声をかけて 2 人で参加しました。

せっかくの三田行きであり、お昼は三田屋本店でと予約を入れておきました。JR から神戸電鉄に乗り換え3駅、フローラウンジより歩いて5分で到着しました。名前だけは聞いていた能楽堂が目の前に見えるロケーションと、食事の伴奏でフルート、ピアノの演奏があり満足しました。

食後は郷の音ホールのトークセッションに戻りました。会場の入り口に次郎の愛車「ベントレー3リッタースピードモデル」が展示されていました。



日本の車のコレクターがイギリスの持ち主と交渉して買い戻した逸品で、思っていたより大きいので驚きました。

ホールは200人ほどで満員の盛況でした。イベントは、北康利氏の問いかけに、85歳



をこえられた牧山夫妻が白洲次郎とのあれこれを語ります。会場は真剣に聞き、時には笑いを誘う和やかな2時間でした。

桂子さんはおしゃれな次郎を語り、牧山圭男さんは英国土産に次郎にプレゼントされたジャケットを着てきた思い出を話しました。芦屋で生まれた白洲次郎を想い、没後40年に合わせた次郎の長女桂子さん夫妻のトークセッションを楽しみました。次郎の愛車ベントレーの実車も見ることができルンルンの一日でした。

上野恭男

## 第 27 回 神戸 YMCA インターナショナルチャリティーラン 2025

11 月 23 日(日) 27 回目のチャリティーランが幸せの村で、開催されました。

阪神大震災後に、神戸の復興の祈りを込めて、始まったチャリティーラン、昨年の開催日より 20 日ほど遅い晩秋の日程となりました。当初は、寒い日になるのではと懸念していましたが、当日は雲 1 つない紺碧の秋晴れの空、清々しい 1 日となりました。今年初めて 10 分の一マラソンに測定タグ使用のタイム測定を導入したり、久しぶりに、から揚げ・フランクフルト・おでん等フードブースが提供されました。



六甲部の各クラブからのワイスの方々が集まり、芦屋クラブからは、田辺会長、中島かおりさん、濱瀬がフードブースで参加しました。

各クラブのワイスの力を合わせて、忙しい 1 日でしたが、フードブースからの協力金もチャリティーに届けられる事が出来て、私も学生時代の、模擬店



を思い出し、忙しい中にも楽しい 1 日となりました。ワイスからは 35 名の参加となりました。

又、今年は、神戸 YMCA 専門学校の、日本語学科、ホテル学科の留学生 17 名のボランティアの参加もありました。

後で、留学生たちは、とても楽しくボランティア参加ができると生き生きとした表情で、話していました。

ワイスメンズクラブ「共に生きる」ボランティア会員の「心のふれあい」「ボランティアの心」の 3 つの目標が、まさに達成される 1 日となりました。毎回参加して思うことは、幼児からシニアまで楽しんで 1 つになって、参加できる、チャリティーランは、なんて素晴らしいのでしょうか！田代大会会長、間実行委員長の皆さん、お疲れ様でした。

濱瀬 真知子

## 『聖句 読み説き』

今月の聖書箇所は世界で最も知られている話であると言つてもよいでしょう。ここから人間と神との関わり方の示される物語が展開されていく重要なポイントになります。「取って食べるな！」と命令するのであれば、そんな木を生えさせなければ良いのではないか！とおもってしまいます。これは命令と強制の違いと言えます。従うことも出来るし従わないことも出来るのが命令です。それが出来ないのが強制です。つまり人間は神々の奴隸として作られたと言うバビロニアの宗教思想に対決して、人間は神々の形に似せられて作られ、神と向き合うものとして、神との人格的な関係の中に置かれると記されているのです。それは支配・被支配、あるいは強制と隸従の関係ではなく、対話の関係、向き合う関係、応答関係が大切なのだと言っているのです。人間は「それは極めて良かった」と神は言われたのです。(創. 1 章 31 節)。この「良かった」と訳されている「トップ」というヒブル語には「美しい」という意味が強くあります。それは「大変美しかった」として神が満足できるものとして人間は創造されたのです。それが、その後の物語を初めとして聖書全体の中に流れているのです。神と人間との関係は支配・被支配、強制と隸従の関係ではなく、自由意志・自発性をあくまで大事にして人間関係で有り、対話の関係、向き合う関係、応答関係が大切のだ！と語られているのです。神に向こうものとして創られ、互いに向こうもの同士として創られている人間(男と女)が神からの呼びかけに応え、互いの呼びかけに応え合う存在であることが、何よりも大切なこととして受け止められています。これが最も大切なことなのだと、語っているのです。

権 甲植

## 12月第2例会議事録

日時： 11月26日(水) 18:30～20:00

場所： 芦屋市民センター204号室 (敬称略)

参加者： 田辺会長・上野・柏原・桑野・島田・濱瀬・福原  
(各ワイス)、井島担当主事

☆プリテン編集会議： 18:30～18:40

### 議事・報告

◆第1例会予定 会場は原則ホテル竹園芦屋

・12月23日(火) 18:00～21:00 クリスマス会

・1月15日(水) 19:00～21:00

新春放談会 (ショート・ショート)

・2月 4日(水) 18:00～20:00 芦屋市民センター  
留学生交流会 & 第2例会 20:00～第2例会

・3月・4月(さくら祭り)・5月・6月(締めくくり)

☆今後の希望： チェアエクササイズでフレイル予防  
(竹尾好恵さん)

◆クリスマス祝会役割分担

参加者集計： 柏原、 司会： 福原・柏原

奨励： 権・島田、 受付： 桑野・浜瀬

来賓ゲスト案内： 上野・柏原 プログラム作成： 桑野

エンタテイナー案内： 坂東、 テーブル設定： 柏原・舟橋

◆他クラブクリスマス例会出席

・宝塚クラブ12/6((土) 島田・坂東

・西宮クラブ12/12(金) 田辺会長・上野・柏原

・神戸ポート12/12(金) 桑野・福原

・神戸クラブ 12/20(土) 田辺会長・上野・柏原・桑野

中山・浜瀬・船橋

☆参加者には会費の1/3をクラブより補助

☆12月初めに各クラブ例会報告が届くので新たな参加者  
を追加する

◆次期会長を福原吉孝ワイスに変更した

◆その他報告

・会計報告 桑野会計より10月収支報告 承認

・十勝じやがいもファンド報告 89,800円をファンド基金へ

・六甲部部会報告 プリテンにて紹介

◆きらりと輝くアート展 実行委員会報告 福原主査

日時： 2026年3月26日(木)～29日(日)

会場： 「原田の森ギャラリー」

書記 柏原佳子

## YMCA ニュース

### 第27回神戸YMCAインターナショナルチャリティーラン2025

11月23日(日)に神戸市北区にあるしあわせの村にて「第27回神戸YMCAインターナショナルチャリティーラン2025」が開催されました。11月下旬に開催されるということで寒さも心配されましたが、お天気にも恵まれて、暖かい中で実施することができました。久しぶりに出店があり、ワイスメンズクラブ六甲部のワイスメンの方々の協力により、フランクフルト・おでん・ラムネなどのお店を出店いただきました。そしてプログラムでは初の試みである「1/10マラソンの自動計測」と「RUNNET」への掲載により、YMCA関係者以外にも周知され、参加に繋がっています。【1/10マラソン：40名 1.2kmウォーキング：172名 1/100マラソン：122名】1.2kmウォーキングでは家族や仲間で



コスチュームを身にまとい、楽しそうに歩く姿が見られ、各マラソンでは、それぞれの力を振り絞る姿や協力して走り切るかっこいい姿が見られました。このチャリティーランで得られる参加費や益金は全て、障がいのある子どもたちが様々な体験活動をする為の資金として活用をさせていただきます。学生のボランティアやワイスメンズクラブの方々、それぞれのYMCAに連なるボランティアスタッフの皆さまの協力の下、大きな怪我もなく終えることができています。この場をお借りして感謝申し上げます。

当主事 井島裕介

編集後記： 12月は各クラブ趣向を凝らしたクリスマス会が開催されます。芦屋クラブから多くのメンバーが参加。それに楽しみながら、しんがりを務める我クラブクリスマス会への参加をお誘いします。今回は少し振りにカントリーを楽しみます。歌にバンド、それにダンスも加わって大いに楽しみましょう。

桑野友子